

堀新次氏文書(1)概要

1: 文書群番号	078004
2: 文書群名	堀新次氏文書(1)
3: 出所	堀新次家
4: 家業・役職等	浜田村庄屋
5: 地名	摂津国武庫郡浜田村／兵庫県武庫郡浜田村／武庫郡大庄村浜田／尼崎市浜田／尼崎市浜田町ほか
6: 行政区分	幕府領／尼崎藩領／兵庫県第7区／西新田組戸長役場／大庄村／尼崎市
7: 歴史	<p>浜田村は、市域西部、蓬川上流に位置する。史料上の初見は建永2年(1207)で浜田郷とある。中世には東新田とともに浜田荘の荘域であった。</p> <p>近世初期には幕府領、元和3年(1617)尼崎藩領となった。村高は慶長10年(1605)に533石余、天保5年(1834)に553石余とある。天和・貞享年間(1681～1688)には家数53軒、人数317人、天明8年(1788)には47軒、197人であった。水利は大島井組に属し、大島井は旧浜田荘2か村(浜田・東新田)と旧大島荘4か村(今北・東大島・西大島・西新田)で構成。氏神は松原神社(近世には牛頭天王社、近代には素盞鳴神社、のち現社名に改称)、寺院は臨濟宗妙心寺派起興善寺・浄土真宗本願寺派浄専</p>
8: 伝来	<p>市史編集室時代に調査済みであった本文書群を、昭和53年に堀新次氏が史料館へ寄託。同氏文書(2)29点と本来一体。平成21年12月、代替わりにつき、邦臣氏より寄託を受ける。</p>
9: 史料入手先	堀邦臣氏
10: 点数	431点(目録件数199件)
11: 年代	宝永4年(1707)～昭和13年(1938)
12: 構造と内容	<p>本文書群は①近世～明治初期の宮座関係、②興禅寺及び浄専寺関係、③浜田村新田開発、④金融関係、⑤家関係などの史料からなる。</p> <p>①は、天明期あるいは嘉永期の氏神宮座争論における口上書など。②は、興禅寺住職の進退、興禅寺・浄専寺の銀子貸借関係、祠堂銭に関する史料などがある。③は、文政10年(1827)の池地新開についての史料である。④は、借用証文、田畑建家質物借用証文、田畑屋敷売渡証文の他、出世証文などがある。⑤は、堀家の相続のほか、婚礼、出産等に関わる史料がある。</p>
13: 関連史料	堀新次氏文書(2)
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	河野未央